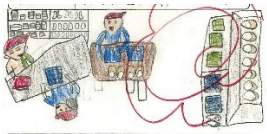
令和7年度

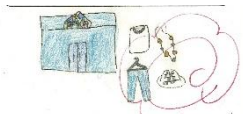
2年　学習成果発表会テーマ

「　えがおのひみつたんけんたい　発表会　」

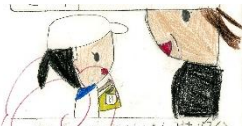
＜学習成果物＞



みやのいりょう店でふくをたたむしごとをしました。しわができないようにおりめのばしょを手でおさえて早くいきいわれました。それでふくをたたみました。だれかと話すしごとをしたときはえがおでずっと話すのがたいへんだと思いました。えがおでずっとしているのがすごいと思いました。

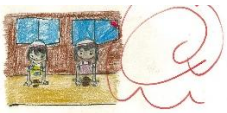


みやのいりょう店のスはおきゃくさんが来たことに気づいて、良さが笑顔になれば、あいさつも笑顔になってくれると思って、それをじっこうしていました。

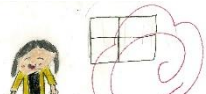


でんいんさんはいま自分ができることを考えたりしているとしりました。

しょうきをつくろうしごとをしました。同じあつさにぼうでとのえるのがむずかしかったです。しょうきの方とがわのねん土にあながあかないようにしんちょうにやるのがむずかしかったです。いわれたことは「あまりからべたくしないでください」でそう言われて「むずかしいな」思いました。

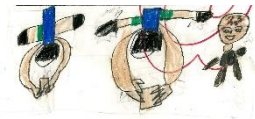


しょうきを作るしごとをしました。ねん土をデコボコにしないようにのばしました。スタンプをおすときに「おまりスタンプをおさない方がいいよ。わけはしょうきを作らうときにしょうきがデコボコになるからだよ。」と言っていました。おとなになったらしょうきを作る人になりたいです。



こんなたいへんなしごとを一人でがんばっているんだなと思いました。あたしもおとなになったらすすんでがんばる人になりたいです。すてきなえがおでした。

ねんどでしょうきの形を作りました。しごとをして、一人でこんなたいへんなしょうきを作っているんだなと思いました。お店の人に「たべものをのせれるような形を作ってね。」と言われて、そうすればうまく作れると思いました。

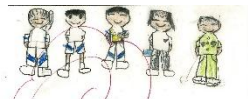


ぞうれんでゆかをふきました。「ぞうきんをゆかにつけないで、おしゃかさまにおしりをむけないでくらいうしていいてね。」と言われたので言うとおりにしました。学校のそうじのほうがとくいでした。

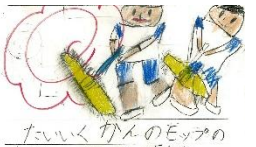
大人でかっこいい自分を目がしているすごくすてきな人になった。大人のためにおあうを読むと思う。お年寄りのために手をつかえるお方です。

大泉院のござを雑ぶきしました。ござの目に合わせてふく、おしゃかさまにおしりをむけないでふく、ひざをつけないでふくを気をつけました。やってみておきゃくさんがきた時は笑顔だけでおきゃくさんがいる時は笑顔じゃないことがわかりました。

たいいくかんでもうきをかきました。つよくそうのがこものすごくたいへんでしたがだけどだんだんいこじょうずにできたからうれしかったです。



しおたはいつもいる人のことを、みんなのことを考えている方だと思いました。わけはみんなのことを考えてイベントのじゅんびをしてくれているからです。みんなのためものやぎょうじがあって考えてやってくれてることです。



たいいくかんのモップのしごとをしました。力をいれておなかがつかないようにモップをもってねと言われました。ちょっとむずかしいと思いました。